



# 第5会場●4F 視聴覚室

■司 会／中原 崇詞 鳥取県米子市教育委員会生涯学習課 社会教育主事  
平地佐代子 福岡県九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学生涯学習研究センター 所長補佐

## 1 『えんがわくらぶ』－高齢者の活力創造と世代間交流の子育て支援－ 13:30～13:55

山川 千寿（福岡県古賀市） えんがわくらぶ 代表世話人

『えんがわくらぶ』（古賀市高齢者生きがいづくり支援センター）は施設と運営費を市が提供し、シニアルネサンス財団と委託契約を結び、山川をはじめ4名のシニアライフアドバイザーがスタッフとして運営に携わっている。活動拠点は古賀東小学校の旧用務員宿舎。高齢者の平均年齢は67才。3世代子育て支援、退職男性の地域デビュー、学校教育への参画、地域リーダーの養成などの成果が生まれていった。

## 2 絵本・体操・物語で構成する子どもの夏休み特別プログラム 13:55～14:20

－民生・児童委員が展開する子育て支援事業－

木村 恭代（佐賀市諸富町） 諸富地区民生児童委員

出発は昭和56年。夏休みのラジオ体操をきっかけにして総合的な子ども活動に展開。子育てサポートグループ「かすたねっと」も誕生し、民生・児童委員の参加を得て小学生対象の活動が幼児、保護者、地域住民にまで拡大し、プログラムの豊富化、コミュニケーションの深化が実現し、着実な活動が地域に根づいている。

ティータイム 14:20～14:55

## 3 福祉保健所による子育て支援・地域づくりプロジェクトへの参画 14:55～15:20

－「本」と「おはなし」で地域を結ぶネットワーク活動の官民協働の論理と方法－

元吉 喜志男（高知県） 高知県健康福祉部 副部長（総括）

高知「本」と「おはなし」ネット 会員

活動の主体は平成14年民間のボランティアが設立した「のいち子ども図書館クラブ」から出発し、市町村の単位を越えた『高知「本」と「おはなし」ネット』に拡大・発展し、子どもと本の出会いを促進してきた。各種プログラムの実践を経て、情報交流、事業共同の輪が拡大して関係組織の領域や世代を越え、官民協働のプロジェクトに進化を遂げた。結果的に実行組織は異業種交流の多機能・多様性を活かした混成チームに発展し、子どもへの「読み聞かせ」を原点としながらも、地域づくりを視野に入れた総合的な活動を展開し始めている。

## 4 異校種 PTA ネットワーク「地域の宝」事業 15:20～15:45

末廣 弘江（大分県杵築市）「地域の宝」実行委員会 委員長

宗近中学校 PTA 会長

県教委の重点事業として支援を受け、中学校を拠点とし、校区内の各学校 PTA の連携の下に「地域の宝」実行委員会を結成。あいさつ運動、交通指導、地区の干渉での自然観察、ボランティア活動などの実践を通して教育力の向上を目指した。市内のボランティア団体「であいねっとわーくともだち」や校区内の育成団体との協働も進めた。児童生徒間の交流、保護者の意識の変革は確実に進んだが次年度以降の活動の継続発展が課題である。

## 5 総括討論 15:45～16:15